



# 大出区安全安心なまちづくり

## 推進協議会だより



令和元年 9 月 第 9 号

### 箕輪町防災士連絡会、AED 救急救命講習会を開催

箕輪町防災士連絡会(平成 24 年 8 月発足・丸山全二会長以下 41 名)は、これまで統一ジャケット、ベストとヘルメットを新調して活動体制の強化を図るとともに、活動内容充実のため避難所運営、AED 活用講習等の各種活動を進めていますが、この度 3 回目となる AED 救急救命講習会を開催しました。

今回の講習会には、一般からも青年 2 名が参加するとともに、女性の日赤指導員も指導に加わるなど参加層の広がり、活発な質疑が出るなど内容も充実したものでした。

もしもの時の対応がとれるよう、より多くの方の参加を希望しますが、講師からも「まずはこのような状況にならない予防・注意が必要です。」との言葉に気持ちを新たにしました次第です。



日赤女性指導員の指導と参加者の訓練



- 日時 令和元年 8 年 23 日(金)午後 7 時～
- 場所 箕輪町役場
- 参加者 日赤指導員、防災士、一般企業へ勤める青年 16 名
- 概要

日赤指導員から、AED の必要性、AED の活用について講義を受けたのち、参加者が訓練人形を使って体験研修を実施しました。

要点は次のとおりです。

- ・ AED は、心臓から血液が送り出されないことによる脳へのダメージを減らすために活用するもので、心臓が異常な動きの場合に電気ショックが入ります。
- ・ 救急車の到着時間は、平均 8 分 30 秒から 9 分で、AED 活用が 1 分遅れると 7～10%

復率が落ちます。

- ・心肺蘇生は、強く、早く、絶え間なくのもと救急車到着まで続けます。
- ・人工呼吸は、感染防止のマスクがない等の場合やらなくてもよいが、子供は体内の酸素が少ないことから有効です。

このほか、物をのどに詰ませた場合の措置、口から物を吐く場合の体制等についても学びました。

（日本赤十字社ホームページ「一次救命措置」の動画を参考にしてください。）

## ○結び

現在 AED は公共施設、コンビニ等多くの場所に設置されていますので、より多くの方が使えるように活用方法を学ぶことが必要ですが、講師の「AED を使うことが無いような予防・注意がまず必要です。」は誰もがしなければならない非常に重要なことです。

～以上～